



シマネスク通信

# 守り続けたい故郷の棚田

雲南市 山王寺本郷地区



## 1. 取り組みの概要

島根県の県都・松江市の中心部から約30分車を走らせると、道は九十九折の坂道が続く峠を越えて、ほどなく、標高300mの急峻な地形の山腹にある山王寺本郷地区<sup>さんのおうじ</sup>に到着します。

地区の南斜面には、耕地面積19ヘクタール、約200枚の棚田のまとまりがあり、その貴重な景観は平成11年度に農林水産省から「日本の棚田百選」に認定されました。地区には、百選の棚田以外にも多くの棚田があります。

棚田のほとんどは湿田のため、大型機械による効率的な農作業は出来ません。小型の耕耘機や湿田用トラクターでの耕起や代掻き、バインダーでの手刈り作業は農家にとって大きな負担となっています。このため、耕作放棄地も増えつつありましたが、地区外の住民との交流をきっかけに地区が一体となって、農地の保全と耕作放棄地の復旧などに取り組まれています。

この取り組みについて、集落の高島さんにお話しをお聞きしました。

### 山王寺本郷地区の概要

—地区では高齢化が進んでいると聞いています。百選の棚田も耕作放棄地が目立っているようです。

**集落** そうですね。地区は3自治会から成り、計38世帯が住んでいますが、高齢化が進んでいます。私の自治会では昭和24年生まれの私が一番若い。一人暮らしの世帯も多い。若い者は地区から出て生活していて、農業を継ぐ考えはないようです。

棚田百選に選ばれた頃は綺麗でしたが、この5年の間に耕作放棄地が目立つようになりました。高齢化も原因ですが、田へつながる道の幅が1mしかなくトラクターが通ることができず、荒れたところもあります。



棚田百選に認定された棚田の斜面

田として保全することは大変な労力を伴うため、近年、耕作放棄地が目立つようになった。

—棚田での営農の工夫や苦勞について教えてください。

**集落** 平地のように用水路が十分に整備されておらず、田んぼ1枚ごとに水を引くという耕作はできません。地区には水路が1本あって、そこから引いた水は他の田に水を落とすようにしています。水を無駄にしていないという見方もできますが、下の田で除草剤を撒いた時などは好きなように水を落とすことができず、気を使うこともあります。

また、この地区の土は粘土質のため、乾燥すると畦畔や田にヒビが入って水漏れの原因などになるため、昔は水を確保するためのトラブルもあったようです。今はある程度乾かさないと機械が入らないので、昔ほど水が必要なことはなく、問題になることは少なくなりました。

## 2. 地区での取り組みの変遷

### ● 棚田祭りー変革の萌芽

ー日本の棚田百選に認定されましたが、地区の景観が全国に認められたことについて当時を振り返ると。

**集落** 平成11年度に日本の棚田百選に認定されましたが、ここで生まれ育っていた自分にとっては当たり前の景色でした。当時を振り返ると恥ずかしい話ですが、耕作放棄地が増えつつあることは仕方ないことで、荒れてきた田を守っていかなくてはいけないという考えは全くありませんでした。

平成14年度に、当時の大東町（現在は合併して雲南市）に棚田展望台を整備していただきましたが、地区の多くの人は、こんな、山の中の草が生えたところ、誰が見に来る？とっていました。

しかし、折角、展望台を整備してもらったので知らん顔をしている訳にもいかないと考え、自治会の事業として棚田祭りをするようになりました。一度祭りをして終わりという訳にもいかないので続けてきました。現在の棚田祭りは地域外の方も参加されていますが、最初は、地域の中だけで祭りをしていました。地域の外にPRするなんて全く考えていなかったです。

日本の棚田百選は、各県から推薦を受けた棚田の中から学識経験者によって構成される選定委員会により選定され、平成11年に農林水産省が認定したものです。134地区が認定され、島根県からは7地区が選定されています。

(参考) 社団法人農村環境整備センター <http://www.acres.or.jp/Acres20030602/tanada/index.htm>

ー平成14年度の棚田祭り開始当時から現在までの間に、どのような問題や発展がありましたか。

**集落** 棚田祭りのために自治会が会費を別に集めることは負担になるので反対意見もありました。また、自治会の役員が棚田祭りを主催することの負担から、役員を引き受けにくくなるという問題もありました。

このような事情で、平成18年度に、自治会で棚田祭りを主催することが難しくなりました。これまで祭りをしてきたのだからと、中山間地域等直接支払事業の集落協定に参加している6世帯が有志となり、棚田祭りを継続することとし、山王寺本郷棚田実行委員会を結成しました。費用も中山間地域等直接支払事業を活用することにしました。

### ● 田んぼの学校ー変革の始まり

このようなときに、水土里ネットしまねから「田んぼの学校」をやってみないかと話がありました。しかし、これに取り組んでも、地域の皆は一緒にやってくれるだろうかと悩み、考えた末に、実行委員会で役員を設けて体制を作ることにしました。そうして、とにかくやってみようと、強引に皆さん方をお願いしました。

やってみると仲間に入れてという方が増え、今では中山間地域等直接支払事業の集落協定が16世帯まで増えました。今度、反省会をしますが、婦人を含めて50人近くも集まります。

田んぼの学校とは、古くから農業の営みの中で形づくられてきた水田や水路、ため池、里山などを、遊びと学びの場として活用する環境教育の総称です。「環境に対する豊かな感性と見識を持つ人を育てること」、「自然と人との共生、都市と農村への共生の途（みち）をさぐること」**をねらいとされています。**

(参考) 社団法人農村環境整備センター <http://www.tanbonogakko.net/index.php>

水土里ネットしまね <http://www.shimanedoren.or.jp/tanbo/tanbo.htm>

山王寺地区では、田植えコース（6月）、棚田の自然調べコース（7月）、稲刈りコース（9月）、収穫祭コース・棚田祭り（11月）をされています。



田んぼの学校に参加した子供たち

**コメント [島根県1]:** 転載について、農村整備課岡企画幹を通じて了解を得た

一気に皆さんが参加されるようになった理由は何でしょう。また、その結果、地区がどうなりましたか。

**集落** 田んぼの学校に取り組むようになって、地域外から家族が来たり、子供の声を聞けるようになったり一昔は地区にも子供がたくさんいて、子供の声は励みになりますーということが刺激になるのでしょうか。とにかく、集落協定に入っていないでも良いので協力してくださいと色々な人に声をかけたら、皆さん引き受けてくださった。仲間が増えていくと「よそで草を刈って綺麗にしているから、うちも綺麗にしないで」と競争みたいな感じになり、連鎖反応で草刈りをされるという感じですね。こんなことは昔はなかったですね。



棚田祭りも地域の外から人が来られるようになり刺激になりましたが、特に田んぼの学校が刺激となり、自分たちの住むところを綺麗な景色として見てもらいたいと、農地の保全、景観の保全に皆が取り組むようになりました。

### 山王寺本郷棚田実行委員会会則

第1条 この会は、山王寺地区にある棚田の保全管理を行いながら、かけがえない農村の原風景を維持していくことを目的とする。また、この地で生産される農業生産物の付加価値を高め、棚田米のブランド化や棚田オーナー制度導入など農業経営安定と景観保全の方策を探る活動を通じて、地域との連携を図っていくことを目的とする。

第2条 この会は、山王寺本郷棚田実行委員会（以下「棚田実行委員会」という。）と称し、事務局は委員会内に設置する。

第3条 棚田実行委員会の会員は、実行委員と自治会員、協力員をもって組織する。

第4条 棚田実行委員会は第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 田んぼの学校
- (2) 棚田保全活動
- (3) 棚田祭り
- (4) 役員会
- (5) 実行委員会

第5条 棚田実行委員会に次の役員を置き、実行委員の中から互選により選出する。役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

- |           |    |
|-----------|----|
| (1) 実行委員長 | 1名 |
| (2) 会計    | 1名 |
| (3) 総務    | 3名 |
| (4) 監事    | 2名 |

第6条 棚田実行委員会の経費は、運営補助金、寄付金、その他の収支をもって運営する。

第7条 棚田実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8条 この会則に定めのない事項については、役員会にて立案し協議する。

附則

本会則は平成18年4月1日より施行する。

☆ 平成20年度は実行会員（16名）、自治会員（自治会役員及び自治会婦人部）、協力員（ゲートボールクラブ、老人ゲートボールクラブ、その他賛同者）がサポートしています。

— 棚田祭りは今年で7回目となりました。現在はどのようなことをされていますか。

**集落** これまではおにぎりや豚汁を無料で振る舞っていました。多くの方に「この米は美味しい」と言ってもらえて、米を買いに来られる方もいるので、今年からはおにぎりは販売させていただいています。棚田祭りでは神樂もしていますが、神樂が好きな人からは「今年もやりますか」と問い合わせがあります。「いつ、棚田祭りをしますか」という問い合わせも増えてきています。

毎年同じことを繰り返すのではなく、新しいことをしようと考えています。



県の無形民族文化財に指定されている神樂

— 地域外の方からはどのような意見がありますか。それにより、地域はどのように変わりましたか。

**集落** よく、「棚田百選に認定されたのに、どうしてこんなに荒れているの」と言われていました。当初は、「高齢者が多く、若い者も勤めに出ていて、雪も積もる地区なので仕方ない」と言っていました。

ところが議員の方から「棚田を守るために国からいくら補助金をもらっていますか?」と聞かれました。それを聞いてようやく、棚田百選に選ばれていることは外部からは「保全のために当然補助金をもらっているだろう」と見られ、「補助金をもらっているのに荒れていて問題ではないか」とも見られることに気がきました。

そこで、田んぼの学校をしている斜面にある展望台から目立つ場所が荒れていたの、これを何とかしてはと思いました。残念ですが棚田百選の斜面はいろいろな事情があって、全てを綺麗にすることは出来ません。

### 3. 耕作放棄地の復旧の取り組み

#### ● 耕作放棄地の復旧

— 耕作放棄地の復旧はいつ頃から、誰がどのように行ったのでしょうか。

**集落** 平成18年度の田んぼの学校の開校にあたり、3アールを復旧しました。平成19年度は20アールを、平成20年度も6アールを復旧しました。湿田なので機械が入らず、ほとんど人力作業です。水土里ネットに相談して、主に行政機関の職員に協力していただきました。

— 多くの集落では、復旧後、何を作付けして、誰が農地として守るかが課題と聞いていますが。

**集落** 平成18年度に復旧した田には「古代米（黒米）」を作付けしました。古代米は名前が良いし、ビタミン、ミネラルなどが豊富に含まれ、体に良い。「縁起の良い出世米」とも言われており、棚田祭りで餅に混ぜています。

平成19年に復旧した場所は水が抜けない場所なので田ではなく畑に復旧し、菜の花を撒き、その後にソバを撒きました。

平成20年度に復旧した場所にはサツマイモを植えました。これは田んぼの学校の収穫祭で毎年同じことをするのではなく違うことをしなくてはと思い、親子でサツマイモを掘ってもらって喜んでもらおうと思ったためです。



復田作業（畦塗り）

## 4. 固定客を掴む

### 米のブランド化の取り組み

― 棚田で収穫される米は美味しいと言われていますが、どのように栽培していますか。どのような販売ルートでしょうか。

**集落** まず栽培ですが、自分の田では化学肥料は1反に10キロ程度しか使いません。家で飼っている牛の糞を中心に施肥しています。除草剤は田植え後に1回のみ。防除は全くしていません。収穫した米は全て、はで干しをしています。販売価格は30キロ袋が1万円です。3キロ1千円の袋もあります。

自分だけでなく、地区の棚田米のほとんどは流通ルートに乗せず、各農家が縁故米として販売しています。

以前、家内が孫を連れて展望台に上がっていたら、地域外から来られた方が「この辺りの米は食べたら美味しいでしょうね。どこか、もらえるところはあるでしょうか」と言われたことがきっかけで、つながりができたこともありました。その後、毎年買ってもらっています。



ブランド化を図るために作成した山王寺棚田舞の袋

― 米のブランド化、差別化についてどのような取り組みをされ、どのような課題がありますか。

**集落** ワークショップで、取り組みやすいことは何だろうと考えてブランド化を進めることにしました。最初は「神楽米」にしたかったのですが既に商標登録されていました。そこで「棚田舞」として業者と相談しながらパッケージを作り、棚田祭りや地区外での祭りで販売し、PRを始めました。このパッケージがあるのでイメージも良くなり電話注文のほとんどは「土産にしたい」というものです。

ただ、パッケージは同じですが、各農家の栽培方法は統一できていません。祭りで使う米と買って持ち帰っていただく米の味が違っては困るので、今回の棚田祭りでは、祭りで使う米も販売する米も同じ米にしました。今後、栽培方法を統一するよう取り組み始めています。

### 原風景を探して

**集落** イベントでもない時に、地域外の高齢者の方が長い時間いらっしゃることもあります。高齢者の方にとっては癒しの場になるんでしょうかね。昔はどこにでもあった、青い空があって、彼方に山があって、棚田があって、車の音も聞こえない。高齢者の方が昔過ごされていた場所がここにはあって、心が和むのでしょうかね。



## 5. 成功のポイントと今後の課題

### 他の地域へのアドバイス

「地区の取り組みを他の地域で直ちに実施することは難しいとは思いますが、アドバイスをいただけないでしょうか。」

**集落** 一番大切なのは、誰もがやる気になる、一つになるということです。地区の取り組みも、最初は有志だけだったものが、今は皆でやっています。あと、自治会の事業のままでは、役職者以外は意見を言いにくく、活動が発展することは難しい。有志で取り組むようになったら色々な考えを言い合って、少しずつでも毎年活動の輪が大きくなる。それを見ている人たちも、「あの人が参加しているから自分も参加しないと、仲間外れになる」という気持ちになって参加する。参加すると仲間意識ができて、声の掛け合いも増えていく。そういう感じが田舎にはあると思うんですよ。で、今はね、自治会の中の事業も、積極的になっています。いろいろな制度を上手に活用して、自治会費で負担せずに取り組めるよう工夫しています。

### 今後の課題

「様々な取り組みが上手くいっているようですが、課題はありますか。」

**集落** これからやっていく、今一番の課題はね、これが何年続くかなという心配です。農業の後継者がいないんですよ。

大切だと思うことは、棚田祭りや復田、田植えを一生懸命やる。やる時には、地区から出て行った若い者にもなるべく声をかけ、来てもらって、親の姿をとにかく見せるということ。そうして若い者に、「親父やお爺さん、お婆さんが一生懸命やっているなあ」という気持ちを持ってもらうこと。それで、「定年になったらこの土地に戻り、守っていかなくてはいけないな」という気持ちを起こさせるようにする、そうならしてもらいたい、そういう願いもあるんですよ。

こういうことを色々やっていますが、子供たちも手が離れているし、60歳から70歳が中心となって盛り上がり、体が動けて、棚田を守っていて、今が一番良い時期かなという気がします。





## しまね景観賞について

機能性、効率性を追い求めていた時代から、潤いや安らぎ、快適性を求める声が高まる中、島根県では、平成3年12月「ふるさと島根の景観づくり条例」を制定し、優れた自然や伝統文化を生かし、生活と文化の豊かさを実感できる県土、活力あふれる地域づくりを進めているところです。景観づくりに対する関心も、市街地の緑化事業や景観づくり助成事業等を通じて、徐々に高まってきております。

そうした中、地域の景観づくりに特に貢献したものを表彰し、快適で文化の薫り高い島根の景観づくりを推進する一助とするため、「しまね景観賞」を創設しました。

「山王寺の棚田」は平成19年度の第15回しまね景観賞で優秀賞（まち・みどり部門）を受賞しました。



**コメント [島根県2]:** 都市計画化  
景観政策室 角森さんから、転用の承諾を得た。

11月の半ば、雲南市大東町の山間にある山王寺地区の棚田展望台に立つ。小さいながらもゴミ一つ見あたらない展望台では、後ろを振り向けば茅葺きの古民家があり、眼下には手入れの行き届いた棚田が広がっている。季節によって様々な表情を見せる棚田も、今は収穫が終わり、静けさが漂う。まるで時間が止まっているようなその落ち着いた情景には、初めて訪れた私もどこか懐かしさを憶えた。

後継者不足や少子高齢化といった深刻な問題を抱える過疎の集落において、「日本の棚田百選」にも認定された魅力ある風景と棚田文化を守り続けることは難しい。そうした中、地域の方々は、水土里ネット島根のご協力のもと、子供達が田植えや稲刈りを通して環境について学ぶ「田んぼの学校」や都会の学生が田舎体験をする「ちち☆ばす」などの活動や交流に積極的に取り組んでいる。聞けば、活動に参加した子供達の笑顔が地域の方々の弛まぬ努力のエネルギー源になっているようだ。

賞に値するこの素晴らしい景観が、また、それを支える多くの方々の守りたいとの想いが、共に後世に受け継がれていくことを願う。（審査委員 浅田純作氏）

「しまね景観賞」は、島根県のホームページに掲載しています

○第15回しまね景観賞受賞作品

([http://www.pref.shimane.lg.jp/environment/nature/keikan/keikan\\_sho/koenkai.html](http://www.pref.shimane.lg.jp/environment/nature/keikan/keikan_sho/koenkai.html))

○しまね映像ライブラリー…山王寺の棚田の動画を閲覧できます

(<http://movie.pref.shimane.jp/scenery/006.html>)

○また、島根県市町村振興センターでも、取り組みを動画で紹介しています

(<http://www.tp-shimane.com/mu-bu-shimane/mu-bu-vol16.html>)